

# 令和5年度学校評価アンケート（前期）結果

京都市立花背小中学校 校長 板垣 嘉郎  
令和5年度前期学校評価アンケートを実施しましたので、結果と分析についてお知らせいたします。

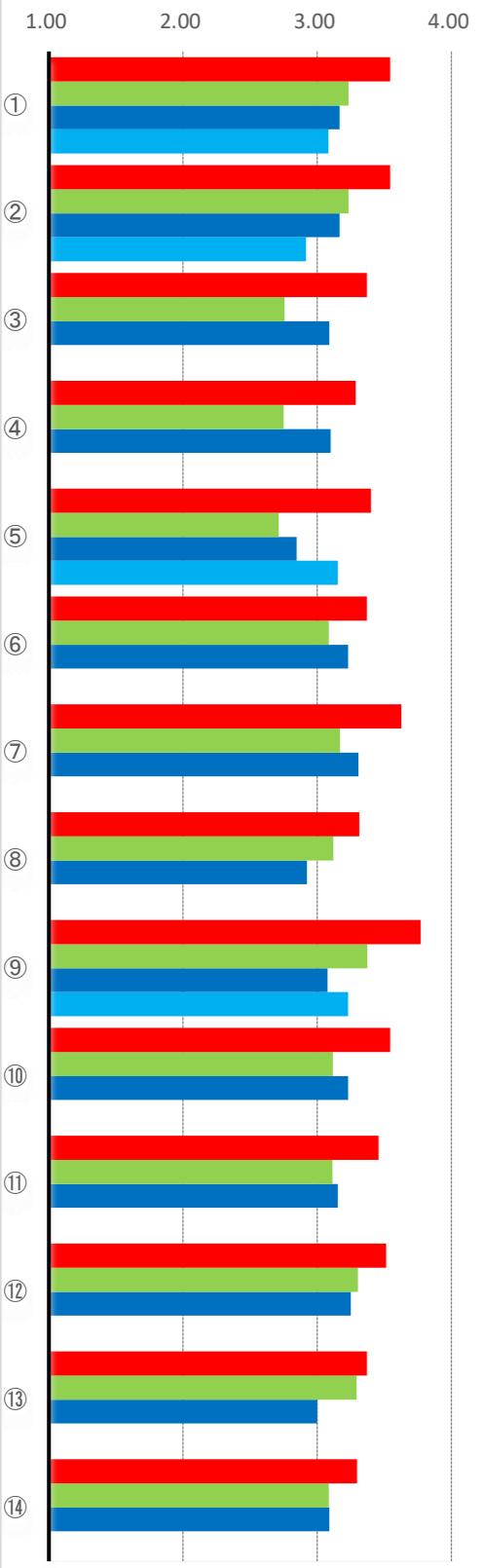


## I 「確かな学力」について

- ②（意見を伝え合う）項目では、（Ⅰ期3.33Ⅱ期3.75Ⅲ期3.71）児童生徒の値が高い傾向にありました。
- ③（家庭学習）の項目では児童生徒の評価に比べ保護者の評価が低い傾向がありました。
- ④（読書）の項目ではⅡ期(2.75)・Ⅲ期(2.83)の値が低く、Ⅰ期では、保護者の値は「2.67」と児童の値「3.93」と比べて低い傾向がみられました。

■児童生徒 ■保護者 ■教職員① ■教職員②

### 学校生活を振り返って＜令和5年度①＞ (児童生徒・保護者・学校(教職員実現度)の傾向) 4点満点



項目	7月
① 授業に集中して精一杯取り組んでいる。	3.54
② 基礎的な学力が定着するように指導している。	3.17
③ 学習活動に満足感や達成感をもつように指導している。	3.08
④ 友達の意見を聞いたり、自分の意見を伝えたりしている。	3.54
⑤ 相手の意見を的確に聞けるように指導している。	3.17
⑥ 自分の思いを明確に伝えられるように指導している。	2.92
⑦ めあてをもって積極的に家庭学習に取り組んでいる。	3.37
⑧ めあてをもって積極的に家庭学習に取り組んでいる。	2.76
⑨ めあてをもって家庭学習に取り組めるように指導をしている。	2.67
⑩ 色々な本を読んで自分の世界を広げたり深めたりしている。	3.09
⑪ 色々な本を読んで自分の世界を広げたり深めたりしている。	3.29
⑫ 読書活動を通して、語彙を増やしたり読解力を伸ばしたりできるように指導している。	2.75
⑬ 心をこめたあいさつやいねいな言葉づかいをしている。	3.10
⑭ 心をこめたあいさつやいねいな言葉づかいをしている。	3.40
⑮ 心をこめたあいさつをするように指導をしている。	2.71
⑯ 丁寧な言葉遣いをするように指導をしている。	2.85
⑰ だれに対しても思いやりをもって関わっている。	3.15
⑱ だれに対しても思いやりをもって関わっている。	3.37
⑲ 児童生徒が相手を思いやり、親切にするように指導している。	3.09
⑳ 自分や友だちのよさをみとめ合っている。	3.23
㉑ 自分や友だちのよさをみとめ合っている。	3.63
㉒ 自分や友だちのよさに気つくことができるよう、工夫している。	3.17
㉓ 児生会の活動や学校の行事を協力して進めている。	3.31
㉔ 児生会の活動や学校の行事を協力して進めている。	3.31
㉕ 児生会の活動や学校行事を自分たちで進めていくよう指導している。	3.31
㉖ 学校生活の中で楽しみながら運動している。	3.12
㉗ 学校生活の中で楽しみながら運動している。	2.92
㉘ 積極的に体を動かせるように指導している。	3.77
㉙ 健康で体力のある体を作れるように指導している。	3.38
㉚ 安全に過ごせるように自分で考え行動している。	3.08
㉛ 自分で考えて安全に過ごすことができるよう指導している。	3.23
㉜ 自分で考えて安全に過ごすことができるよう指導している。	3.54
㉝ 健康に過ごすために早寝早起き、朝ご飯を大切にしている。	3.12
㉞ 健康に過ごすために早寝早起き、朝ご飯を大切にしている。	3.23
㉟ 健康で規則正しい生活をするように指導をしている。	3.46
㉟ 縦割り活動や期の活動に積極的に参加している。	3.11
㉟ 縦割り活動や期の活動に積極的に参加している。	3.15
㉟ 縦割り活動や期の活動で積極的に行動できるよう指導している。	3.51
㉟ 花背学習や行事等を通して花背のよさに気づいている。	3.30
㉟ 花背学習や行事等を通して花背のよさに気づいている。	3.25
㉟ 花背学習で意欲的に地域のことをしっかり学べるよう工夫している。	3.37
㉟ 花背学習の中で自分で課題を設定し解決しようとしている。	3.29
㉟ 花背学習の中で自分で課題を設定し解決しようとしている。	3.00
㉟ 花背学習で自分で課題を設定し解決する力を伸ばせるように指導している。	3.30
㉟ 花背学習の中で自分で課題を設定し解決しようとしている。	3.09
㉟ 花背学習で自分で課題を設定し解決する力を伸ばせるように指導している。	3.09

- 少人数のため意見を一人一人が伝え合う時間がしっかりとあるため②の項目の値が高くなっていると考えられます。各教科や花背学習を通して多様な他者に思いを明確に伝える力を伸ばしていくと考えています。
- 家庭学習を児童生徒の主体的な活動にしていくために発達段階に応じて児童生徒自身が学びを「自己選択」「自己決定」していくように支援していかないと考えています。
- 読書は、すべての学習活動の土台となる力を育ててくれると考えています。Ⅰ期では週末に読む期間を作っています。読む本がいつも同じ傾向にならないように読み聞かせ、読書紹介など取り組みも行っています。また前期課程では読書ノートに読んだ本を記録しています。お子達の読書の傾向を、お家でも見ていただき話題にしていただけたらと思います。

## 2 「豊かな心」について

- ⑤（あいさつや丁寧な言葉づかい）の項目で保護者の値「2.71」と児童生徒の値「3.41」に差がみられました。（全体）⑥（思いやり）⑦（認め合い）の項目では、児童生徒の値（2 - ⑥3.38 2 - ⑦3.68）が非常に高い結果となりました。

- 思いやり、認め合う力が高いことは、縦割り活動がうまく機能しているからと考えられます。あいさつに関しては、多様な場面でのあいさつの指導が必要だと考えています。そのために道徳の時間や日常で、「あいさつ」や「言葉づかい」がどうして大切なのかという本質と一緒に考えていきたいと考えます。またPTAと教職員による、挨拶運動にも継続して取り組んでいき、気持ちの良いあいさつのあふれる学校にしていければと思います。

## 3 「健やかな体」について

- 期が上がるごとに⑪早寝早起きの値が下がっています。（Ⅰ期3.6, Ⅱ期3.33, Ⅲ期3.29）

- 早寝早起き朝ごはんは、体の健康だけでなく、心の健康とすべての学習の土台になります。本校では2学期と3学期の初めに健康観察カードを活用して、生活習慣について見直す機会を作り、その結果をもとに保健指導を行っています。その指導内容を学級通信、HPで保護者とも共有し連携しながら児童生徒の生活習慣を整えていければと考えています。

## 4 「郷土を愛する子どもを地域とともに育てる」について

- ⑫（縦割り活動）の項目の値が満点（4）になっていました。（4年・9年）
- ⑭（花背学習での課題設定）の値（3.71）が非常に高くなっていました。（Ⅲ期）

- I期・II期の縦割り活動の充実が高い評価につながったと考えられます。⑭に関しては、発達段階に応じて、課題を設定する力を系統的に設定し身についていけるよう指導していきたいと考えています。

## 学校運営協議会より

- 読書に関しては、家庭環境も大きく影響するので、目的を明確にして家庭との連携が必要。
- まずは大人がよりよいあいさつをして、見本となることが大切。
- 地域の人に愛着をもつことが「郷土を愛すること」につながる。学校に協力する地域の人材を今後も増やしていくべき。